

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 180

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 1. 社会福 現年		
事業名	母子寡婦福祉会補助事業				
細事業名	母子寡婦福祉会補助事業				
評価表作成者				市民福祉部 子育て支援課	大橋 香澄

1. 事業の概要

母子寡婦福祉会団体の自主的な組織の活動を支援するための補助事業。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

母子寡婦家庭の互いに支えあう組織・事業への支援である。

② 事業を実施する必要性

母子寡婦福祉会の活動を支援することにより、ひとり親家庭の交流と自立を促進することができる。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	465	465	465	465	465	465	465
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	465	465	465	465	465	465
職員等の従事人員	人/年	—	0.30	0.15	0.10			
人件費	千円	—	2,212	1,090	644			
事業費総額	千円	—	2,677	1,555	1,109			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

母子寡婦福祉会活動補助金	450,000円
ひとり親家庭いきいきふれあい事業助成金	15,000円

5. 事業結果の概要

南丹市母子寡婦福祉会（園部 八木 日吉 美山 4支部）の会員相互の交流活動を支援。
 大阪ビッグバンへのひとり親日帰りバス旅行を支援。

6. 活動の詳細

1. 申請		
各事業の補助金申請受付	5月	
2. 審査		
書類審査	6月	
3. 交付決定		
交付決定通知・支払	6月	

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

母子家庭が増加する中で、親子交流事業、母子寡婦の集いなどの事業の充実も図るなど、母子寡婦福祉会の活動は母子家庭支援として大切な役割を果たしている。その活動に対しての助成、支援は重要であり、今後も、母子家庭の生活の安定、また自立支援につながる有効な事業として支援を続けていく方向である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

母子家庭が増加する中で、いきいきふれあい事業や親子交流事業、母子寡婦の集いなど新たな事業の充実も図るなど、母子寡婦福祉会の活動は母子家庭支援として大切な役割を果たしている。その活動に対しての助成、支援は重要であり、今後も、母子家庭の生活の安定、また自立支援につながる有効な事業として支援を続けていく方向である。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
活動補助金の内容と福祉会への支援について協議を行った。
- ②当該事業のアピール事項
母子寡婦の自立を進めている団体への支援を進める。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
活動補助金について検討を進める必要がある。